

幼児を連れての外出および図書館利用：困ったことと嬉しいこと

水野 琴海

横浜国立大学附属図書館に勤務しております、水野と申します。2歳の息子と、2匹の猫と、夫とともに暮らしております。我が家での小さい子連れでのお出かけや図書館利用の際に困ったこと、良かったこと、あると嬉しいことなどについて書かせていただきます。

まずはお出かけの際の困ったことについてです。我が家の場合、車がないため長距離移動はもっぱら電車を中心とした公共交通機関ということになります。そして、電車を使うようなお出かけの場合かなり荷物が多くなるため、ベビーカーを利用することがほとんどです。ところが、ベビーカーだと徒歩ならなんてことない少しの階段に泣かされることが多いのです。駅などでもなかなかエレベーターのないところが多く、ベビーカーで途方に暮れたことが何度もありました。

次に、良かったサービスやあると嬉しいことについてです。最近の公共スペースは、多目的トイレというのがとても増えました。これはとても助かります。広いベビーカーごと入ることができ、おむつ交換台もある。洋式トイレの横には子供を座らせておくベビチェアが備え付けのことも多い。これが当たり前、数多く設置されているのはとても助かります。

また授乳室・調乳室があるところが増えたのも嬉しいです。なるべくなら、この二つは別々に設置されていると、父と子だけのお出かけの時に父がミルクを作れるのでさらに助かります。授乳室の隅に調乳スペースがあるという場所の場合、男性入室禁止で父親が入れないため、父と子のお出かけではミルクを作れず困ってしまいます。

子連れでの図書館利用について考えてみると、初めて利用したのは育休中で子供がまだ8ヶ月ぐらいの頃でした。0～2歳向けの親子読書会に参加した際です。やはり、プロが選んだおすすめ絵

本を読み聞かせてくれるのはとても良いです。基本的なサービスではありますが、膨大にある絵本の中からどれを買うか参考にできるのでありがたいですし、実際その時に紹介された絵本を息子が気に入ったのでその後購入しました。

こういったイベントへの要望としては、たまにでもいいので週末にやってほしいです。平日に行われるため、育休から仕事に復帰したあとは一度も参加できていないのです。また、我が家は多分今の日本では珍しく、夫が育休を取ったため、このイベントも毎回親子3人で参加しましたが、他のご家庭は一人もパパの参加者がいませんでした。土日ならパパも参加しやすいのではないかと思います。いっそ父子限定の回を作ってみたら、その時間ママは図書館内で好きな本や雑誌をゆっくり読めるし、パパが頑張って一人で連れて行ってくればその時間に家でお昼寝することだって可能です。

それから、こんなことやってくれると嬉しいなど個人的に思うイベントは絵本修理講座です。家でも絵本の読み聞かせはしますが、一人でお座りできるようになると、子供は自分でページをめくりたがります。そして破くのです。これも指先の発達などにきっと必要なことだろうと思いつつも、お気に入りの絵本ほどビリビリになってしまいます。そんな絵本の修復講座など、材料費程度の有料でやってくれると嬉しいです。インターネット上には修理の動画などもあるようですが、細かい部分がどうしてもわかりにくいので、実際に破れた絵本を持参して教えてもらえるとありがたいです。

私が知らないだけで、きっと幼児やその家族向けの良いサービスをしている図書館はたくさんあると思います。そういった良い事例を各図書館が取り入れあって、より良いサービスが生まれてくれればと思います。

(みずの ことみ・横浜国立大学附属図書館)